

# 2014年度開催 支部総会報告

## 香川県支部 支部長 山本 宏氏 (1977年度人文学科卒業)

2014年10月25日(土)四国学院大学祭で賑わう中、香川県支部総会を開催し、根本博愛四国学院大学名誉教授に『四国学院を語る』と題して講演会をお願いしました。先生は、1972年4月に大学に赴任され、退職までの40年間沢山の卒業生を見守ってこれ、ゼミOBの方にも沢山の思い出をいただき、学生時代の

の講義を思い出していただけたのではないかと思います。香川県支部は、大学の御膝元でもあります。大学の行事に合わせる等して、大学の現状を知っていただき、また大学を顧みる機会になっていただければと思っております。次回は、2016年開催予定です。



## 愛媛県支部 支部長 河野 正氏 (1976年度人文学科卒業)

同窓会愛媛県支部総会を2014年11月15日(土)に、「国際ホテル松山」で開催しました。支部総会に先立ち、大学の卒業生の得永幸子さんと新宮久子さんによるコンサートを行いました。コンサートには、同窓生だけでなく、その家族や現役の学生達も聴きにきており、にぎわいました。新宮さんのピアノ伴奏による得永さんのソプラノ独唱は、懐かしい曲が多く、若い頃の思い出がよみがえってきて、心が癒されました。また、皆で歌った大学のカレッジソングは、その作曲に得永さんのお母さんを中心に、姉妹が関わったエピソードも伺い、新たな発見がありました。今までの支部総会は、

講演会形式で行っていたこともあり、今回のコンサートは、新鮮な感じがして、有意義なものになったと思っています。支部総会後の懇親会には、得永さんと新宮さんの参加もあり、同窓生と大いに盛り上がり、楽しい一時を過ごすことができました。これにより、同窓生の絆を一層深めることができたと思っています。支部総会は、2年に一度開催しています。これからも、同窓生の皆様から色々なアイデアをいただき、楽しめる企画をしたいと思っています。まだ支部総会に参加していない方々も是非一度来て下さい。各々で得るものがあると思っています。



## 広島県支部 事務局 木下 誠也氏 (1982年度社会福祉学科卒業)

2014年11月29日広島市で久しぶりに広島県支部総会を開催することができました。昨年は、企画を考える時期に広島カープが優勝する勢いでペナントレースを戦っていました。2年ごとの同窓会開催に、何か皆さんと一緒に楽しめる企画が無いかと重政支部長と頭を悩ませていたところ、前根来泰治支部長とのやり取りを思い出しました。四国学院から広島東洋カープにドラフトで入団した天野浩一君を激励する機会を広島県支部で作ろうと話していた矢先に根来支部長は、癌の病が見つかり、療養中に天に召されてしまいました。なかなか、実現する機会をもてないまま、何か忘れ物をした思いだけが残っていました。カープの盛り上がり期待した今がチャンスかもしれないとの思いから、事務局とご相談して天野君の来広にこぎ着けることができました。現役時代には間に合いませんでしたし、カープも残念な結果に終わりましたが、天野君を囲んで、楽しいひと時を過ごすことができました。現役時代のビデオを見たり、プロ野球選手の経験をお聞きすることができ貴重な時間でした。天野君は現在、四国学院野球部の指導もされており、学院の現在の様子なども交えた

お話も興味深い物でした。参加者は少なかったのですが、久しぶりに広島在住の同窓生の方々とお会いして年代を越えて盛り上がり、同窓会の必要性を改めて感じさせられました。広島には、卒業生がたくさん居られ、さまざまな分野で活躍しています。年代は違っても、同じキャンパスで過ごした日々は共通の思い出として残っていると思います。同窓会を人脈を広げる機会として利用することも、個々にとって大きなメリットになるのではないのでしょうか。広島県支部の運営もなかなか大変です。ぜひ、若い年代の後輩の皆さんも含めて、定期的な開催を維持できるようにしていきたいと願っております。現在、組織の充実を目指しております。ぜひ、皆様のご協力をお願いいたします。志ある方はどうぞ事務局までお申し出ください。(藤川さんよろしく)一緒に、楽しい企画を考えて、同窓生が出会える場所を作りませんか。来年の定期開催をめざしてご協力をお願いいたします。参加して下さった方々、本当に感謝いたします。



## CONTENTS

2014年度開催支部総会報告・・・p1	同窓生からのお便り……………p6
2015年度支部総会案内・・・p2	大学関連……………p7
事務局より……………p4	

発行日/2015年6月 発行者/四国学院同窓会

〒765-0013 香川県善通寺市文京町3丁目2番23号 e-mail rogosu@sg-u.ac.jp



0120-459500

TEL 0877-62-5500(直通) 平日8:30~17:00 FAX 0877-63-4599

# 2015年度同窓会支部総会のご案内

近隣支部への参加、勤務地や開催日にお近くにいらっしゃる等、どの支部でも参加はご自由です。  
詳しくは同窓会ホームページでご確認いただけますのでご覧ください。

## 高知県 支部総会

- 開催日時 2015年8月22日(土)  
受 付18:00  
支 部 総 会18:30~19:00  
懇 親 会19:00~21:00
- 会 場 「リバーサイドホテル松栄」  
高知市天神町8-1 TEL.088-832-3211
- 返信締切 8月12日(水) ●会費 5,000円  
(※懇親会参加者のみ必要です)

## 四国学院同窓会 会長 牧本憲尚

拝啓 同窓生の皆様におかれましては、四国学院同窓会活動に、ご理解とご支援を賜りまして深く感謝を申し上げます。2014年8月九州支部設立準備委員会を開催し、地元同窓生のご尽力を賜り、いよいよ九州支部が発足いたします。九州には約550名の同窓生がおられ、広範囲にわたりますが、九州支部発足の地を大分県別府市とさせていただきます。母校は遠きにあります、年代を越え母校を同じくする九州在住の同窓生方々との親睦を深めていただきたいと願っております。お誘いあわせのうえ、ご参加いただけますよう心よりお待ちしております。 敬具

## 九州支部 結成総会

- 開催日時 2015年9月5日(土)  
受 付14:30  
支 部 結 成 総 会15:00~17:00  
懇 親 会18:00~20:00
- 会 場 「別府ホテル清風」  
別府市北浜2-12-21 TEL.0977-24-3939
- 返信締切日 8月22日(土) ●会費 6,000円  
(※懇親会参加者のみ必要です)

## 大阪支部 支部長 辻本正裕氏 (1972年度社会福祉学科卒業)

今年9月に大阪支部総会を開催いたします。大阪だけではなく近隣県にお住まいの方、どなたでも気軽にご参加くださいますようお願い申し上げます。当日は、大学の現在の様子もお話させていただきます。

## 大阪 支部総会

- 開催日時 2015年9月26日(土)  
受 付10:30  
支 部 総 会11:00~11:30  
懇 親 会12:00~14:00
- 会 場 「メルパルク大阪(新大阪)」 地下1階“カトリア”  
大阪市淀川区宮原4-2-1 TEL.06-6350-2125
- 返信締切日 9月19日(土) ●会費 4,000円  
(※懇親会参加者のみ必要です)

## 徳島県 支部総会

秋頃開催予定です。  
四国学院同窓会ホームページにてご確認ください。よろしくお願いいたします。

関東  
支部総会

- 開催日時 2015年11月21日(土)  
受 付 12:00  
講 演 会 12:00~13:30  
支部総会・懇親会 13:45~16:00
- 会 場 「アルカディア市ヶ谷(私学会館)」  
千代田区九段北4-2-25 TEL.03-3261-7760
- 返信締切日 11月14日(土) ●会費 7,000円  
(※懇親会参加者のみ必要です)

『健康に暮らすコツ～メタボとロコモをご存知ですか?～』

四国学院大学の授業として開講されている「大学ダイエット講義」をもとに、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)やロコモティブシンドローム(運動器症候群)にならず、健康に暮らすためのコツについて解りやすくお話しします。



講師 漆原光徳 四国学院大学 副学長(教授・健康スポーツ科学)

1961年栃木県生まれ。筑波大学大学院修了後、四国学院大学専任講師として赴任。オーストラリアアデレード大学客員准教授を経て、1998年から四国学院大学教授。現在、四国学院大学副学長。専門分野は、スポーツ教育学、スポーツ哲学、スポーツ科学からのダイエット論。大学の授業にダイエットを導入して注目され、著書にはその理論と実践をまとめた「大学ダイエット講義」(二見書房)をはじめ、「ミドルエイジからのダイエット」(かもがわ出版)などがある。数多くのテレビ・ラジオ番組の制作・出演と活躍中。

※講演会は、一般の方も聴講いただけます。

岡山県  
支部総会

- 開催日時 2015年11月21日(土)  
受 付 9:30  
講 演 会 10:00~11:30  
支 部 総 会 11:30~12:00  
懇 親 会 12:00~14:00
- 会 場 「サン・ビーチOKAYAMA」  
岡山市北区駅前町2-3-31 TEL.086-225-0631
- 返信締切日 11月7日(土) ●会費 5,000円  
(※懇親会参加者のみ必要です)

※岡山県支部役員から、電話にて支部総会出席の案内の連絡をさせていただく予定です。

『健康づくりのための正しい運動のやり方講座』

運動を生活に取り入れるための必要な知識を解説し、安全で無理のない運動の仕方をご紹介します。



講師 清水幸一 四国学院大学教授

1980年度社会福祉学科卒業後、大阪YMCAやシンガポールYMCAの社会教育や国際協力の現場で25年間働き、その後、大阪体育大学大学院でスポーツ科学を専攻、2009年春、教員として母校に赴任。学生時代から続けているバドミントン、体育の授業では負けなしと自負。四国学院大学サッカー部部長また四国学院同窓会副会長も務める。

※講演会は、一般の方も聴講いただけます。

1. 申込方法 ①同封のハガキにて返信

②e-mailにて rogosu@sg-u.ac.jp  
ハガキと同様、必要項目を入れて送信ください。  
受信後、受信確認の返信をします。連絡がない時は、  
お手数ですが、TELでご一報ください。

2. お問い合わせ 「四国学院同窓会事務局」

①0120-459-500 (平日8:30~17:00)  
②e-mailにて rogosu@sg-u.ac.jp



# 四国学院大学学生課外活動支援

四国学院同窓会では、全国大会出場を果たした団体(個人)に対し、寄付および支援金支給により学生の頑張りを応援しています。温かいご声援をよろしくお願いいたします。

## 大学女子サッカー地域対抗戦 2015に選抜

本学から神高さん、原田さん、松浦さん3名が、四国地区代表として出場しました。2015年2月23日から26日迄、兵庫県丹波市「アスコザパークTANBA」で開催されました。  
 (本学サッカー部女子3名が出場した)中国・四国地区選抜チームの成績は12選抜チーム中11位という結果でした。残念ながら、本大会では好成績を収めることはできませんでしたが、日本各地から参加した選抜チームと対戦できたことは部員たちにとって貴重な経験になりました。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

## 2015パラカヌー 海外派遣選手に決定

2015年3月28日(土)香川県府中湖で開催された選考会にて、日本代表として決定いたしました。2015年8月イタリアでの世界大会の結果次第では、ブラジル・リオデジャネイロで開催されるパラリンピックに出場します。応援よろしくお願いいたします。



崎山翼さん 社会福祉学部3年生 牧本同窓会会長から支援金をお渡しする

## ロゴス館(同窓会館)

**無料開放日 10月24日(土)**

同窓生のホームカミングを歓迎します。  
 受入には限りがありますので、お早めにご予約ください。

同窓会の会場やご家族、ご友人との旅行の宿としてもご利用いただけます。



全景



ホール(約40席)



2階 洋室  
 (6人・10人用各1室)  
 1人1,200円/1泊  
 シャワー共用



2階 和室  
 (8人程度用2室)  
 1人1,200円/1泊  
 シャワー共用



3階 個室(4室)  
 1室3,000円/1泊  
 お風呂・トイレ付  
 (タオル・浴衣有)



3階 和室(4人用2室)  
 1室7,500円/1泊  
 お風呂・トイレ付  
 (タオル・浴衣有)

[お問い合わせ・申込先] 四国学院同窓会 ※ホームページからお申込みができます。

## 自然を歩こう会 プチ同窓会

黒石英幹氏(1996年度英文学科卒業)

2014年11月22日(土曜日)、自然を歩こう会、第17期(1994年卒)~第22期(2000年卒)のメンバーが中心となり、プチ同窓会を開催致しました。

現在サークルは残っていませんので「自然を歩こう会」について簡単にご紹介させていただきます。文連系サークルですが、キャンプ、登山などアウトドアを中心に活動を行い、体を動かしたいメンバーが集まったサークルです。会場は、大学の正門前の居酒屋で開催致しましたが、とにかく体を動かしたい集まりですから、開催時間まで、大学内にて球技活動で汗を流し、校内を散策致しました。

今回は年代が近い40人程が集まり、大学時代の学生生活・サークル活動など思い出を語り合いそれぞれ近況報告をしあい、時間が経つのを忘れる素敵な同窓会でした。同窓会をプロデュースして頂きました方をはじめ、ロゴス館使用などのために同窓会事務局の方には大変お忙しい中、ご尽力を頂きまして有難う御座いました。是非次回の同窓会は、学生時代に比べてずいぶん重くなった体に鞭をいれ、近くのほどよい山にチャレンジしたいと思います。

## 2015年度 大学祭参加企画

今年も、ロゴス館にて大学祭に企画参加いたします。詳細が決まりましたら、同窓会ホームページでお知らせいたしますので、ご覧になってください。



2014年度は卒業写真展・販売をいたしました

## 大学祭 情報

第54回四国学院大学祭は  
10月24日(土)・25日(日)に開催します。  
24日はフジロック・フェスティバル等の、  
大型フェスで高い評価を得ている  
「渋さ知らズオーケストラ」が  
出演決定!! 入場無料投げ銭ライブです。

お問い合わせ 四国学院大学祭実行委員会  
4gaku.fes@gmail.com



## 2015年度同窓会の主な活動

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>① 同窓生支援制度の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学支援制度」</li> <li>●「四国学院同窓会同窓生の卒業後教育支援制度」</li> <li>●「卒業証明書等発行手続き」「大学施設借用手続代行」</li> </ul> <p><b>② ホームカミングの支援</b></p> | <p><b>③ 四国学院大学学生課外活動団体(個人)への支援</b></p> <p><b>④ 大学の企画・プロジェクトの協力・提携</b></p> <p><b>⑤ 就職支援</b></p> <p><b>⑥ 同窓会会報「ロゴスだより」(17号)の発刊</b></p> <p><b>⑦ ロゴス館(同窓会館)の運営</b></p> |
|---|--|

## 四国学院同窓会会費納入のお願い

同窓生の皆様におかれましては、同窓会活動にご支援を賜りまして、深く感謝を申し上げます。同窓会活動運営費は、在籍している卒業年次生から徴収する終身会費で賄われていますが、学生数減少による収入減、反対に年々増加する同窓生数により、将来的にみまると同窓会財政が厳しい状況になってきております。過去を調べてみますと、1981年度以前の卒業生は年会費500円、1982年度から1990年度は年会費1,000円で10年分の徴収がされていました。つきましては、会費有効期間が満了しておられる1990年度以前の卒業生約9,800名の方々に、右記のとおり納入のお願いをさせていただくことといたしました。同窓生お一人お一人のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ■ 対象者と納付額

- ① 1990年度以前の卒業生  
25,000円(終身会費のみ)
- ② 1991年度以降の卒業生で終身会費を納めていない方  
30,000円(入会金5,000円、終身会費25,000円)

### ■ 振込方法

同封の「払込取扱票」にてお願いします。通信欄に、卒業年度・学科・旧姓もお書き添えくださるようお願いします。

- ※同窓会会費をすでに納入済みか疑問の方はお問合せください。  
(入金済の方で振込票が同封されている場合は、ご了承ください)
- ※会費納入が重複した場合を除いて、一旦納入した会費は原則として返還はできません。寄附金の扱いとさせていただきます。
- ※同窓会会費未納の方は、各種同窓生支援制度の対象となりません。

## 住所変更届のお願い

四国学院大学の催し、各種同窓会等の案内をいたします。“転居先不明”で本会に郵便物が返送されてくる悲しいことになりませんように、ご自身で変更届をしてください。



# 同窓生からのお便り

八重子・ファン・ハッテム・橋本氏  
(1971年度英文学科卒業)



はじめに

オランダに来て早くも25年が過ぎました。

今はInternational School of Amsterdam(以下、ISA)で教えています。

四国学院卒業後は1年間大学に残り、前半は学生課に所属し、後半はLL教室で助手を務めました。その後は千葉市の公立中学校の英語教師に。17年間勤めた後、オランダに渡り現在に至ります。

以下、「徒然なる」ままに、書いていきます。

## 1 四国学院時代

70年代は世界的に学生運動が盛んでした。四国学院も例外ではなく、学生食堂や寮も(私は「紫苑寮」に3年間住)学生の要求により自治化されたのでした。

それ以外はのんびりしていたと思います。キャンパス生活で、私にとって大切だったものの一つは「コーラス部」です。入部した時は、この会誌に前回執筆していた川崎さんが部長で、忠久(チューキュー)さんが指揮者、ソプラノ、アルトの各パートリーダーが江野窪さんと土居さんだったように思います。部室は居心地がよく、空き時間そこにいくと誰かがいました。そして、一人が歌い出すとそれに誰かががすぐアルトをつける、ベースをつける、といった具合でした。たくさんの歌を歌いましたが、「黒人霊歌」また、キャロリングでの賛美歌が特に印象に残っています。オーケストラとコラボした「ハレルヤ」も。

あの部室のあった小さな建物は今も存在しているのでしょうか。お隣の部室は社研だったか。下の階はESSで橋本一仁さんが部長。活発に活動していたのを覚えています。

四国学院で初めて触れた「キリスト教」と「歌うこと」は私の大きな財産となっています。

## 2 オランダのこと

オランダは水と緑の国。普段着の国でもあります。住みやすく感じるのは人々のジェンダー差別、人種差別に対する問題意識が高いせいかもしれ

ません。もっとも最近では極右の政党が台頭してきていますし、シリアを中心とした難民受け入れも渋っているようですが。

## 3 職場のこと

教師は十分やった、オランダでは新開拓を、と思っていました。が、結局再び学校勤めに。最初はアムステルダム日本語補習校、次にインターに。インターは今の学校で2校目です。

ISAは男女共学で私立。生徒数1200名余り。3歳から19歳までの在籍で約40カ国から来ています。マジョリティー1位はアメリカ人、次にイギリス人、次がオランダ人で、日本人はその次になります。全体の約10%を占めます。デン・ハーグのインターが大使館関係者の子弟とすると本校は商売、ビジネスマンすなわち、駐在員の子供達です。

本校で採用しているカリキュラムは国際バカロレア(International Baccalaureate)。日本でも最近、公立高校でこのプログラムを取り入れ始めたようですね。本校はPYP(保・幼—5年生)、MYP(6—10年生)、DP(11—12年生)の3つのプログラムを世界で最初に導入、というのが売りの一つです。(ここでIBプログラムの良さを語るスペースがないのが残念!)

私は主に、このDP(Diploma Program)のグループ1(第一言語)のJapanese Literatureを日本人生徒に教えています。また、教科担当以外にJapanese communityのリエゾンとして、学校と保護者間のパイプ役や生徒の進路のお手伝いをしています。日本の大学の説明会の受け入れや要請、そのオーガナイズも含まれます。来校者はICU、早大、筑波大、阪大、岡山大、名古屋大などです。特に早稲田、筑波、阪大はヨーロッパに事務所を持っているので、動きやすいのでしょうか。また、岡大はここ数年毎年来ています。

おわりに

この機会を与えてくださった三好一弘さんにお礼申し上げます。三好さんには普通寺時代、随分お世話になりました。去年の冬休みに何十年ぶりかでお会いしました。また、前号で懐かしい先生たちが鬼籍に入られたことを知りました。私の思い出にあるのは深刺とした若き、また、壮年期の先生たちの姿です。"A lot of water under the bridge"の感、切に!



ISA 校舎(「サーモンピンクキャスル」)



ネパール大地震支援活動(2015年5月13日)

## タイムスリップ・彩とともに

関 静香氏(旧姓岩佐) (1980年度社会福祉学科卒業)

四月のある昼下がり。愛媛県の南予地方(足摺岬に近い地方を愛媛県ではこう呼ぶ)を仕事で訪れていた私の携帯電話が鳴った。内容は「ロゴスだより」寄稿の依頼。

その日をきっかけに、あのうどん県?で過ごした青春の日々が色とりどりに私のなかに甦ってきた。

萌黄(もえぎ)色

母の呪縛から逃れる日の一刻も早い到来を母と口論が絶えなかった中学生の私は、日々願って過ごしていた。

その頃もう一つ抱いていた「福祉について知りたい」という思い。私には三つ違いの妹がいた。しかし、彼女は生まれた時に障害を負ってしまい、わずか四年半でその命の灯は消えてしまったのだ。もし妹が生きていたら学校に行けたかな?どんな人生を送ったかな?小さかった姉の学年がひとつすすむと、考えることもひとつずつ増えていった。

そして高校生となったある日、私は特急列車も止まらない小さな町に私の求めていたものがあると直感した。それが四国学院との出会いだった。

群青(ぐんじょう)色

緑のキャンパスが広がっている。真ん中に一本、通称「女のみち」それは私の暮らす女子寮へと真っ直ぐ通じており、寝坊した女子学生にとっては最高の通学路だった。

青年将校がかつて闊歩していたであろう瀟洒な白い西洋風校舎、そこには私たちの奏でるハンドベルのしらべが流れていた。

教室や下宿の窓から毎日眺めた大麻山。昇る朝日を見よう、と車椅子の友人と一緒に山頂を目指した夜。結局頂上に着いた頃には朝焼けも終わってしまっていたが、みんなではおぼったおむすびは最高だった。

こじんまりしたテラスハウスは教員住宅。私たち学生が夜集うと、奥様は小さな息子さんを連れて二階に上がられる。マルクスから青春トークまで、故村山先生には本当によくおつき合い頂いた。そして忘れられないのは、先生の差し入れのウィスキー。ゼミ合宿の時も先生のバッグからは魔法のようにボトルが現れた。

教室では「母と子のアタッチメント」「傾聴」「ノーマライゼーション」…。社会は大人だけが作っているのではない、子どもも大切な構成要員であること。耳だけで聞くのではなく、心を傾けて聴くこと。障がいがあってもなくても、ひとりひとりが自分らしくあり続けられる社会の実現。私が私であっていいように、あなたもあなたであっていい。

毎日、知識のシャワーは陽を浴びてキラキラ輝きながら降りそそいだ。

これが私の四国学院で過ごした日々。

### 柳(やなぎ)色

卒業後結婚、夫の転勤に伴い温泉の町、松山へ。娘たちが少し大きくなった頃、私はホームヘルパーの仕事を始めた。そこがスタートラインとなり、九年前知人と介護人材の養成研修の会社「ビーイング」を設立。



最近生まれた初孫と



講習風景

仕事の為、親の為、地域の為と受講理由は様々だがそこには介護・福祉の知識を求める真っ直ぐなまなざしがある。だからこそ、私も真摯な姿勢で向き合いたい。かつて、先生方が私たちに向き合ってくれたように。

柳色が織色で様々な模様を表すことをいうならば、織色のように、様々なバリエーションをもった己になることを求めて、精いっぱい自分を生きていこうと思う。その経糸と緯糸を染めてくれたのは、母校四国学院大学の先生方と仲間たち、あの緑のキャンパスそのものなのだから。

### 追伸

青春の日々の懐古と近況報告を拙い文章ながらさせて頂きました。タイムマシンに乗るチャンスを下さったみな様に感謝!母校のご盛栄をこころよりお祈りいたします。

『シズカちゃん、元気にやっています!』

## SARPvol.9 (演出・振付 ハイデ・テゲダー) / SARPvol.10 (演出 多田淳之介)

四国学院大学・アーティスト・イン・レジデンス・プログラム(通称SARP/サーブ)とは、四国学院大学の身体表現と舞台芸術マネジメント・メジャーが主体となって制作する公演の名称です。毎回、プロの演出家・振付家が大学内の宿泊施設に1ヶ月以上滞在し、学生キャスト・スタッフとともに一般観客の鑑賞に耐えうるレベルの高い舞台作品を創作し上演することを目指します。vol.9は、ドイツよりダンス教育者・振付家のハイデ・テゲダー教授をお招きし、コンテンポラリーダンス作品「空、流れる風…」を上演する日独共同制作公演(5月28日~31日)を行いました。vol.10では、東京デスロック主宰で富士見市民文化会館キラリ☆ふじみの芸術監督でもある演出家の多田淳之介氏をお招きし、学生キャスト・スタッフとともに演劇作品を本学トススタジオにて上演(2016年1月28日~31日予定)します。また、SARP初となる高松公演も予定しています。

## トスクール

トススタジオでは、地域の方々にアートとふれあい、言葉とからだを通して表現する経験を提供することを目的とする教育プログラム、トスクールを定期的に開催しています。身体表現と舞台芸術マネジメントメジャーの特徴を生かした、演劇、即興演劇、コンテンポラリーダンスのワークショップを実施し、新しい劇場のあり方を常に模索しています。8月17日~22日には、トスクールin summer 子どものためのワークショップとして、クリエイティブ・ダンスとシアターインプロ(即興演劇)のワークショップを、9月19日には、高校生を対象としたヒップホップのワークショップを開催します。また、9月23日には、子どもに向けた作品の公演として、人形劇「スズの兵隊」を上演します。 **問合せ先** 四国学院大学 総合教育研究センター TEL 0877-62-2455

## 平田オリザ講演会「新しい入試、新しい学力」開催 ※事前申し込み必要

**日時** 8月27日(木) 14:00~16:00 **場所** 四国学院大学 711教室

文部科学省の方針に基づき、学習指導要領が改訂されます。高校の教育関係者の方々を対象に今後、どのように大学入試が変わり、そのためにはどのような学力が必要とされるかを語ります。

**問合せ先** 四国学院大学 リエゾン・センター  
TEL 0877-62-2111 (内線545) FAX 0877-62-2208 E-mail:liaison@sg-u.ac.jp

## 夏期休暇中の証明書の発行

2015年度夏期休暇中(8月13日~18日)は、事務局が閉まります。

この間、同窓会関係の証明書は、発行停止となりますので、就職活動や大学院進学等で証明書の必要な方は、早めに申込みして下さい。



## 「四国学院同窓会同窓生の卒業後教育支援制度」

四国学院大学では同窓生の学習意欲を応援しています。教員免許など資格の取得を目標にしていたが、卒業までに必要な単位を修得することが出来ず、改めて資格の取得を目指そうと考えている同窓生、純粋に教養を身につけたいと考えている同窓生のために設けられている制度です。

### 内容

四国基督教学園、四国学院短期大学、四国学院大学、四国学院大学院を卒業した者で、学部科目等履修生または学部科目聴講生として登録した者は、下記のとおり免除および減額します。ただし、四国学院大学院生として在籍している者は、対象から除きます。

- ①学部科目等履修生の登録料を免除する。(20,000円免除)
- ②学部科目の科目等履修料を1単位毎に半額に減額する。(1単位5,000円減額)
- ③学部科目の聴講料を1単位毎に半額に減額する。(1単位5,000円減額)

## 2015年度免許状更新講習

香川県西讃地域唯一の4年制大学として位置する四国学院大学として、地域への貢献、教員養成課程を有する大学としての社会的責任に鑑み、教員免許状更新講習を実施いたします。2015年度は8月1日から8月9日の9日間で必修2講座・選択31講座を開講します。本学の更新講習は文学部、社会学部、社会福祉学部の3学部を挙げて積極的に取り組み、本講習では受講者の意見を充分に取り入れながら「教育現場ですぐに役立つ最新知識・実践演習」を展開していきます。

## 介護福祉士を取得したい方へ

四国学院大学を卒業後、四国学院大学専門学校に入学し卒業することで、介護福祉士国家試験の受験資格が取得できる制度が導入されています。本学卒業生は、入学金が免除になります。また、香川県の修学資金制度を利用する場合、卒業後、香川県内で介護業務に就き5年間従事すれば、最大160万円の返済が免除になります。

また、四国学院大学専門学校内に介護福祉士実務者研修センター<通信制>が設置されました。現在介護業務に従事していて、介護福祉士の資格を考えている卒業生の方は、2016年度(2017年1月)の受験からは、必須課題として実務者研修修了が受験資格になります。通信の良さは自宅で自分のペースで学べる事です。学費は、入学金不要で、現在修了済みの研修等により金額が変わります。介護福祉士を目指そうとしている方は、四国学院大学専門学校にご相談ください。

問合せ及び資料請求先

学校法人瀬戸内学院 四国学院大学専門学校  
フリーダイヤル 0120-72-5192 メールアドレス info2@setouchi.ac.jp

## 社会福祉士・精神保健福祉士の受験をお考えのみなさまへ

昨年度に引き続き、本学を会場とする「社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験」(日本社会福祉士養成校協会・日本精神福祉士養成校協会主催)に、卒業生も受験することができます。受験対策に、ぜひ活用ください。詳しくは、大学ホームページ「卒業生の方へ」をご覧ください。

## 教育訓練給付制度(一般教育訓練)概要

### 教育訓練給付制度(一般教育訓練)とは?

労働者や離職者が、自ら費用を負担して、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し修了した場合、本人がその教育訓練施設に支払った経費の一部を支給する雇用保険の給付制度です。

### 給付制度対象の指定講座は?

教育訓練給付の対象となる講座は、厚生労働大臣の指定を受けていることが必要です。本学大学院では、2015年4月1日～2018年3月31日の期間、下記研究科・専攻が教育訓練講座として指定されています。

教育訓練施設名：四国学院大学

教育訓練講座の名称：社会福祉学研究科社会福祉学専攻  
社会学研究科社会学専攻

### 給付額

教育訓練施設に支払った教育訓練経費の20%に相当する額となります。ただし、その額が10万円を超える場合は10万円とし、4千円を超えない場合は支給されません。

### 利用資格

受講開始日現在で雇用保険の被保険者であった期間が3年以上(初めて支給を受けようとする方については、当分の間、1年以上)あること、前回の教育訓練給付金受給から今回受講開始日前までに3年以上(※)経過していることなど一定の要件を満たす雇用保険の一般被保険者(在職者)又は一般被保険者であった方(離職者)が厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合に支給。

※2014年10月1日前に教育訓練給付金を受給した場合はこの取扱は適用されません。

見て、聴いて、触れて、感じる。四国学院大学の雰囲気を感じてみよう

## 2015年度オープンキャンパス

大学紹介、モデル授業、個別相談会、キャンパスツアー、保護者対象説明会、その他多数のプログラムを実施いたします。お気軽にご来場ください。

7/18  
sat

11:00~16:00

※こどもひろば同日開催

8/22  
sat

11:00~16:00

※トスクール in summer  
同日開催

9/19  
sat

11:00~16:00

※Anthony Hutchinson  
ダンスワークショップ同日実施

オープンキャンパスや入試に関する  
お問い合わせ・資料請求は

入試課

通話料無料

0120-459-433

TEL0877-62-3964(入試課直通)

E-mail info@sg-u.ac.jp HP http://www.sg-u.ac.jp

オープンキャンパス以外の日程でも個別相談・施設見学など随時受け付けております。お気軽に入試課までお問い合わせください。無料送迎バスルートについて、詳しくはホームページをご参照ください。